

WIDE RANGE DODGEBEE COMPETITION

第2回 広域ドッジビーコンペティション
近畿・中部大会 2014

実施報告書

平成 26 年 3 月 18 日



目次

1.	開催要項	_____	3
2.	参加チーム／人数 一覧	_____	4-5
3.	競技方法	_____	6
4.	最終成績	_____	7
5.	全体スケジュール	_____	8
6.	付帯イベント	_____	8
7.	講評	_____	9-11

別途資料

<全試合一対戦結果表>

お問合せは **日本ドッジビー協会 事務局**

住 所 : 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-46-302

T E L : 0 3 - 3 2 6 4 - 3 6 2 6

F A X : 0 3 - 3 2 6 4 - 3 6 2 7

Mail : support@dbja.jp

1. 【開催要項】

名 称	第2回 広域ドッジビーコンペティション近畿・中部大会 2014 Central JAPAN DODGEBEE Competition 2014
日 時	2014年（平成26年）3月9日（日曜日） 9：30～17：00
場 所	スカイホール 豊田（豊田市総合体育館）メインホール 愛知県豊田市八幡町1-20 TEL：0565-31-0451
主 催	日本ドッジビー協会
主 管	愛知県フライングディスク協会
後 援	愛知県 / 愛知県教育委員会 / 公益財団法人 愛知県教育・スポーツ振興財団 豊田市 / 豊田市教育委員会 / 公益社団法人 全国子ども会連合会 中日新聞社
協 力	豊田市スポーツ推進委員協議会
協 賛	日本テトラパック株式会社 / 株式会社ヒーロー
種 目	ディスクドッジ / ゴールドドッジ
部門/資格	すべて性別は不問 ①ディスクドッジ 小学生低学年部門 / 小学校1～3年 ②ディスクドッジ 小学生高学年部門 / 小学校4～6年 ③ディスクドッジ ミックス部門 / おとなと子ども ④ディスクドッジ 一般部門 / 中学生以上 ⑤ディスクドッジ 障害者部門 / 知的障がい者 ⑥ゴールドドッジ部門 / 不問(未就学児以外)
表 彰	各部門 優 勝 豊田市長表彰状 / 協賛社副賞 準優勝 豊田市教育委員会表彰状 / 協賛社副賞 3 位 中日新聞社表彰状 / 協賛社副賞

2. 【参加チーム一覧】

最終集計値

	チーム名称	地域	人数
①小学生低学年部門 ／4チーム	G.D.T Little	犬山市	13
	苗代Smile	名古屋市	12
	JDC 小 猿	知多市	9
	Fire Jr.	稲沢市	11
②小学生高学年部門 ／12チーム	G.D.T	犬山市	15
	精華六男	岐阜県	12
	精華リトルスター	岐阜県	13
	苗代Victory	名古屋市	13
	JDC ポス猿	知多市	18
	新知ファンタグレープ	知多市	16
	AXTOS PHOENIX Jr.	大府市	13
	Y・T・S・C	武豊町	14
	Get Winz (ゲットウインズ)	名古屋市	15
	C.A.T Tajimi	岐阜県	16
	Fire Kids1	稲沢市	12
	Fire Kids2	稲沢市	12
③ミックス部門 ／6チーム	わん丸G.D.T	犬山市	11
	守東 ASO	名古屋市	10
	新知夜叉姫	知多市	10
	T T V	東京都	16
	Boon SP(ブーンスペシャル)	知多市	10
	チーム ゲラゲラ	大阪府	10

④一般部門 ／9チーム	Team ASO	名古屋市	10
	新知ファンタジスタ	知多市	8
	Boon MIX	知多市	10
	チキン南蛮	大阪府	12
	JDC ジャパンドッチビークラブ	知多市	14
	桜ウインズ	名古屋市	6
	COSMO	瀬戸市	8
	C.A.T Tajimi	岐阜県	12
	D-1 アクロス・ザ・ユニバーズ	尾張旭市	9
⑤障がい者部門 ／4チーム	半田 FDC	半田市	13
	県立半田養護学校桃花校舎	大府市	16
	HIGASI 1の4 クラブ	一宮市	10
	春日台クラブ	春日井市	13
⑥ゴールドドッチ部門 ／4チーム	AXTOS PHOENIX	大府市	8
	MPS	豊田市	9
	につぶん	美浜町	6
	連合ほほい	美浜町	7

※市町表記はすべて、愛知県

参加チーム総数 39チーム

参加選手総数 456名

内訳/子ども（中学生以下） 266名

/おとな（中学卒業以上） 134名

主要スタッフ 30名

/障がい者 52名

審判員 40名

関係者その他 約20名

大会関与者 総合計 550名

3. 【競技方法】

①小学生低学年部門

- 試合時間 : 1試合3分、前後半2セット
予選 : 4チームで構成した1リーグ
決勝 : 予選1位と2位による決勝戦
予選3位と4位による3位決定戦

②小学生高学年部門

- 試合時間 : 1試合3分、前後半2セット
予選 : 3チームで構成した4リーグ
決勝 : 各リーグ上位2チーム、合計8チームの上位トーナメント戦
予選敗退4チームによるフレンドリーマッチを2試合。

③ミックス部門

- 試合時間 : 1試合3分、前後半2セット
予選 : 3チームで構成した2リーグ
決勝 : 各リーグ上位2チーム、合計4チームの上位トーナメント戦
予選敗退2チームによるフレンドリーマッチを1試合。

④一般部門

- 試合時間 : 1試合3分、前後半2セット
予選 : 5/4チームで構成した2リーグ
決勝 : 各リーグ上位2チーム、合計4チームの上位トーナメント戦

⑤障がい者部門

- 試合時間 : 1試合3分、前後半2セット
予選 : 4チームで構成した1リーグ
決勝 : 予選1位と2位による決勝戦
予選3位と4位による3位決定戦

※ディスクドッチは各部門、決勝戦のみ、試合時間は3分30秒

⑥ゴールドドッチ部門

- 試合時間 : 1試合7分、前後半2セット
予選リーグ : 4チームで構成した2リーグ
決勝 : 予選1位と2位による決勝戦
予選3位と4位による3位決定戦

※ゴールドドッチ決勝戦のみ、試合時間は8分00秒

4. 【最終成績】

①小学生低学年部門

優 勝	苗代Smile	名古屋市
準優勝	G.D.T Little	犬山市
3 位	Fire Jr.	稲沢市

②小学生高学年部門

優 勝	AXTOS PHOENIX Jr.	大府市
準優勝	苗代Victory	名古屋市
3 位	C.A.T Tajimi	岐阜県

③ミックス部門

優 勝	新知夜叉姫	知多市
準優勝	守東 ASO	名古屋市
3 位	T T V	東京都

④一般部門

優 勝	Team ASO	名古屋市
準優勝	チキン南蛮	大阪府
3 位	C.A.T Tajimi	岐阜県

⑤障がい者部門

優 勝	県立半田養護学校桃花校舎	大府市
準優勝	半田 FDC	半田市
3 位	HIGASI 1の4 クラブ	一宮市

⑥ゴールドタッチ部門

優 勝	連合ほほい	美浜町
準優勝	AXTOS PHOENIX	大府市
3 位	につぷくん	美浜町

5. 【全体スケジュール】

9:00	～	9:30	参加チーム 受付
9:30	～	9:45	開会式・諸注意事項説明
10:00	～	12:00	予選リーグ戦 (10:00 第1試合 スローオフ)
12:00	～	13:00	昼食／休憩<アルティメット・デモンストレーション>
13:00	～	14:48	決勝トーナメント戦／順位決定戦 (13:00 スローオフ)
14:48	～	15:48	各部門 決勝戦 (15:24 最終試合 スローオフ)
16:00	～	16:30	表彰式
16:30	～	16:45	閉会式
17:00			参加者解散

6. 【付帯イベント】

⑥ドッチディスタンス記録会（報告）

本大会における参加希望チーム数が多かったため、本記録会の実施時間に制限を設けざるを得ず、以下の通り選抜方式を採用して実施。

- 選抜方法 : 本大会①～⑥全部門参加各チームより2名をチーム代表者が当日、朝、受付で配布する記録証および登録書に記入のうえ、記録会実施時間内の参加部門の試合がない空き時間にチーム単位（選抜した2名が同伴）で試技をおこなう。
時間内に来場がない場合、辞退と判断。
- 実施会場 : メインホール 第5コート
- 実施時間 : 13:48～15:20（約90分）
- 横幅制限 : 16メートルにて実施
- 試技方法 : ひとり1分以内に3投して、最長試投を計測。
日本ドッチビー協会制定ドッチディスタンス・ルールに準拠。
- 計測方法 : 協会公認測距器を使用。
協会公認マーカー／受光板を使用。
- 参加者数 : 80名

日本記録	:	更新3名	小学1年生	男子の部	山内 廉示	20.68	分
			中学2年生	男子の部	原田 翼	27.99	分
			中学3年生	女子の部	千葉 茜	20.72	分

7. 【講 評】

本大会は、DBJA主催、愛知県フライングディスク協会主管にて、広域ドッジビーコンペティションシリーズの第2回大会として、近畿・中部大会2014と銘打ち、おこなわれた大会です。



参加者は地元、愛知県を中心に大阪／岐阜／東京と4都府県より、39チーム456名の選手、スタッフ関係者約100名、さらに選手保護者および観客等、総合計で約1,000名超が集まりました。

会場となったスカイホール豊田メインホールは80×45^{メートル}のアリーナ面に天井高30^{メートル}と、かなり大きな体育館でディスクドッジ×4コート、ゴールドドッジ×1コートを余裕ある状態で設定でき、端から端まで歩くと時間がかかる！と思われるほどの広さは壮観でした！

会場入口には今大会の協賛2社様のブースが立ち並び、参加者および観客で人だかりになるなど、イベントとしての彩りも充分に感じることができました。あらためてここで、御礼申し上げます。



午前8:30ごろからチームが続々と集合しはじめ、急遽、観客席を早めにオープンして対応、予定通り9:00受付開始。混乱なく、9:30より開会式を実施。



開会式では、本大会開催にご協力をいただいた団体／企業をご紹介。次に主管元を代表し愛知県協会 寺田会長より歓迎の挨拶ののち、岐阜県から参加した小学生による選手宣誓をおこない、予定時間通り終了となりました。



本大会の競技における大きな特色として障がい者部門、ミックス部門および一般部門がそれぞれ充実したチーム数でおこなわれたことが上げられます。

これは愛知県が中心ということで実現していますが、過去4年間にわたって、ナゴヤドームでドッチビー全国大会が開催されていたことがあり、最も早い時期に幅広い層への普及がなされた環境的側面と県フライングディスク協会スタッフの充実というフォロー体制が大きな要因となっており、全国的に他に例を見ない特長と言えます。



今回の大会ではディスクドッチの全試合縦投げ禁止ルールを採用しましたが、地元、愛知県では小学生以外の部門では縦投げが主流ということもあり、一般部門の参加者において、慣れない様子の方々もチラホラ見受けられ、思わず笑みがこぼれるシーンが多くありました。

一方、ディスクドッチの定番でもある小学生部門（低学年／高学年）はどの地域でおこなう大会でも見ごたえがあり、最も見て楽しめるカテゴリーですが今回も大いなる盛り上がりを見せていました。

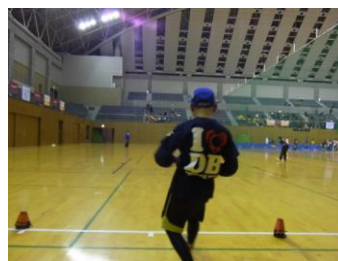


昼食休憩の時間帯にはアルティメットのデモをおこない、フライングディスクの幅広さを伝えることができたと主催者としては感じています。

ゴールドッチ部門も参加4チームではありましたがディスクの魅力が伝わるレベルの高い試合がおこなわれていました。



ディスタンス記録会では 3 名が日本記録を更新しており、個人レベルの高さを示す結果となりました。



最後に大会運営について、過去、何度もDBJAと愛知県協会と一緒に大型大会をおこなった経験があることもあり、スムーズな進行ができたと自負しておりますが、その大きな要因として今回、地元である豊田市のスポーツ推進委員の40名近い皆様に多大なるご協力をいただいたことが大きな成功要因であると感じています。



今後も愛知県を中心とした近畿・中部地域の普及発展を願うとともに、今大会の開催が広域レベルでの交流に寄与することができれば幸いです。



WIDE RANGE DODGEBEE COMPETITION

日本ドッジビー協会
代表 稲垣 敬雄